

はまだっこ

<http://www.yokkaichi.ed.jp/hamada/>

よつかいちしりつはまだしょうがっこう
四日市市立浜田小学校

へいせい ねん がつ とお か
平成31年4月10日



がっこう たいせつ か かんが
学校のここを、大切にしていけます。変えていきます。考えていきます。

No.2に続いて、No.3では、保護者の皆様に、大切にしていきたいこと、見直したいこと、見直そうとしていること、ご理解いただきたいことをお伝えします。



がっこう ずあん はいち へんこう
【学校づくりビジョンの図案をよりイメージしやすく、配置を変更しました。】

具体的変更点は、PTA総会の前に行います「学校づくり説明会」でお伝えします。

イメージ図で下のほうにあった「コミュニケーション力育成」と「互いに向上する人間関係」が授業づくりの両輪になるということから、3つのめざす子どもの姿「考える力」「やさしい力」「つよい力」を育てることで、身についていくという位置に動かします。



ようし だい げんそくこう ひ ふたん き か
【用紙代は原則公費負担に切り替えていきます。】

四日市市の全ての公立小中学校で、昨年度どの程度保護者負担をいただいているかを見直す機会がありました。同等品であればより安く購入できるところと基準を定め、見直しを図りました。

本校でも、保護者負担軽減を考え、新年度を迎えたと聞いています。その中で、今までは用紙代として、学年費の中から学習プリントや画用紙を出していただいていたことがわかりました。こういった用紙代は公費の中で「消耗品費」に含まれ、教育活動としてやっていることは、公費で賄うのが原則です。ただ、図工などで作品を作る時に必要とする色画用紙や厚手の白画用紙まで全てを公費負担とすることは難しく、教材費として引き続き学年費でお願いすることにはなります。なお、学年費については、上記の用紙代の削減と、10月から消費税が2%増額になることなどを見通して、現在見直しをしています。決まり次第、学年会計と5・6年生の旅行積立金の計画をお知らせします。



どようじゅぎょう どうようび かつよう きょういくかつどう めいしょうへんこう
【土曜授業が「土曜日などを活用した教育活動」と名称変更されました。】

四日市市内の小中学校で数年前から年に6～8回程度行ってきた土曜授業は、その内容と回数を見直し、名称が変更されることになりました。当初は学校開放や土曜日のお子様の充実した活動のためにと導入された取り組みでしたが、学校によっては欠席者が普段より多くなったり、地域行事や他地区との日程調整が大変になったりしてきて、見直してはどうかということになりました。今年度から各学校（学校長）の判断で、「土曜日などを活用した教育活動の日」としていくことになりました。

今年度本校では①4月27日（土）授業参観・学校づくり説明会・PTA総会・引き渡し訓練、②6月1日（土）はまだっこ運動会、③9月21日（土）学校公開日・半日（振替なし）、④10月20日（日）浜田地区運動会（出欠はとらない）を、予定しています。

がいこくご がくしゅう じゅうじつ はか
【外国語の学習の充実が図られます。】

後日、四日市市教育委員会からお知らせがあります。令和2年度から、新学習指導要領に基づいて、3・4年生は週1時間の「外国語活動」、5・6年生は週2時間の「外国語科」が新たに入ってきます。本市では、小中の新学習指導要領の内容を検討した結果、今年度から前倒しして、小学校のカリキュラムの中



じょうき じかんすう 「がいこくご かつどう」 「がいこくご かい」として、ぜんしょうがっこうで導入することになりました。ほんこうでは、げつようびを特別日課として、帰りの時刻に配慮して、7限目を新設しました。

【ホームページのパスワードについて、検討をしていきます。】



本校のホームページは、校長が発行している学校だよりは誰でも読めるようになっていますが、学年のページなどはパスワードの入力がなければ見ることができなくなっています。この方法を決めた後に、学校運営協議会が発足し、地域人材を生かした学校運営が求められ、学校が今どのような教育活動をしているかを地域の皆様にも知っていただく必要性が言われるようになりました。さらに、本校では学校ボランティアの募集を毎年行っていますが、そういった外部協力者の方々にも本校の子どもたちの様子をホームページで見たいとも思っています。

ホームページにはわが子が写っている写真は入れないでほしい、というお家がどの学年でも数軒あります。その考えを十分に尊重しながら、ホームページにあげる写真は画質を落とし、個人写真のようなものは使っていないこと、遠足・社会見学・自然教室・修学旅行ではその活動先から速報を送りますが、アップできない子を避けることはとても難しく、各担任に確かめてからしかアップできないので速報にならないことなどをお伝えし、ホームページや学校だよりにお子様の写真をあげることにご理解を得ようとしている段階です。今年度はこのままパスワードをかけた運用になりますが、地域の方々や学校運営協議会、PTA実行委員会・役員会の皆様からもご意見を頂戴しながら、パスワードを継続していくか、解除するかを考えたいと思います。

【衛生上の視点から、マスクは白色を原則とします。】

最近是不織布のマスクもカラフルになり、手作りマスクは様々な絵柄が増え、小さいお子様の場合それをうらやましく感じる子もいるようです。昨年度もお子様にはお伝えしてきましたが、色の濃いマスクは、素材が何であれ、汚れがわかりづらいです。



子どもたち自身に汚れがわかり、衛生的に扱えるようにと考え、原則は白色としたいと思います。すでに家にカラーマスクや手作りマスクがあるという方もみえると思いますので、今年度は移行期間としたいと思います。次からマスクを購入される時や手作りされる時は、白色のマスクとなりますよう、ご協力ください。

【教職員の働き方改革は待ったなしです。】



「子どものためであればどんな長時間勤務も良しとする」という働き方は、教職員という職の崇高な使命感から生まれてきたものです。しかし、教職員がどんどん疲弊し、元気がない姿で子どもたちの前に立つことがないとは言えない状況が学校にはあります。教職員が元気であることは、教育活動の質の向上につながります。四日市市においても、この1月25日に文部科学省から出されたガイドラインをもとに、年間の時間外労働時間を720時間（昨年度までは1,000時間）以内と定め、この目標を達成するために、19時には退勤させる（繁忙期は20時ということもある）ことを目標とし、「教員するなら四日市プロジェクト」を推進する施策を打ち出してきました。子どもたちのためにも教職員が元気であって欲しいということを確認し、働き方改革を本格化させていきます。

その具体的な取り組みとして、四日市市では、①小中学校59校すべてに学校業務アシスタントを配置する、②学校の電話に時間外になったらオートメッセージ機能を付ける、③中学校から順次高速印刷機を導入（小学校はR2年度からR3年度に導入）を予算化しました。これを受けて本校でも①学校業務アシスタントの活用、②オートメッセージが導入されるまでは、昨年度までと同様に19:00以降は電話に出ない・土日原則電話に出ないようにと、校長指示を出しました。どうかご理解とご協力をよろしくお願いいたします。